

目的 国際電気技術委員会(IEC)の洗たく性能試験法の規格化に協力して ①カーボン, ②血痕, ③チョコレート, ④赤ワインの標準汚染布による合同実験を行った。

方法 (カクハン型標準洗たく機 $M_1$ , ニ槽式渦巻洗たく機 $M_2$ ): (標準洗たく布 $L_1$ , Yシャツ $L_2$ ): 洗たく温度( $25^{\circ}\text{C}$   $T_1$ ,  $40^{\circ}\text{C}$   $T_2$ ): 汚染布(カーボン $S_1$ , 血痕 $S_2$ , チョコレート $S_3$ , 赤ワイン $S_4$ ): の組合せで 各洗たく実験ご 洗淨条件ごとの各種汚染布の  
とに $5 \times 10 \text{ cm}$ の汚染布を各5枚ずつ洗たく布 $L$ にぬいつ 表面反射率(Blue filter)  
け、所定の洗淨を行った後、表面反射率から洗淨  
効率を求め 種々の検討を行った。

結果 実験結果の一部を要約して右表に示した。  
IEC委員会の試験目的は 実際ヨゴレ共存下での洗淨効果とヨゴレのない洗たく布共存下でのそれとに有意差がある筈とする一部代表国の主張確認のためのものであったが、有意差はないとする我々の予想通り、有意差は認められていない。なお この成果は国際的合合同実験の一部であるので 全成果をまとめた結果も併せ報告できる予定である。このほかヨゴレの種類ごとの洗淨効果についても 分散分析の結果を示しつつ、併せて知見を述べる。

未洗汚染布 $W_0$			標準洗たく布 $L_1$		Yシャツ $L_2$	
	S	T	$25^{\circ}\text{C}$	$40^{\circ}\text{C}$	$25^{\circ}\text{C}$	$40^{\circ}\text{C}$
70.8 汚染布	$S_0$	$M_1$	72.2	72.0	72.6	71.9
		$M_2$	72.5	71.7	72.7	71.9
16.5 カーボン	$S_1$	$M_1$	32.6	34.7	30.9	41.8
		$M_2$	31.5	39.5	27.1	36.2
13.8 血痕	$S_2$	$M_1$	58.3	56.6	62.2	62.8
		$M_2$	51.0	53.9	53.2	58.7
26.4 チョコレート	$S_3$	$M_1$	37.0	36.4	41.2	41.3
		$M_2$	42.0	42.8	43.0	45.1
34.3 赤ワイン	$S_4$	$M_1$	50.7	50.9	51.5	51.4
		$M_2$	50.1	51.8	50.8	52.1